

# 平成20年度 和歌山県文化奨励賞

## や た なお き 矢 田 直 己

住 所：和歌山県紀の川市  
出 身 地：和歌山県紀の川市  
生 年：昭和48年

■現在  
棋士

### ■主な表彰歴等

平成5年 関西棋院永井賞  
平成5年 関西棋院山野賞  
平成8年 関西棋院新人賞  
平成19年 関西棋院連勝賞

### ◎業績及び経歴

昭和48年貴志川町(現：紀の川市)に生まれ、父親の影響で小学校1年生から囲碁を始める。翌年には、小中学生の囲碁日本一を決める少年少女囲碁大会の全国大会に出場し、小学5年生の時には同大会で3位となった。

この入賞がきっかけで、同年、プロの棋士を目指して、関西棋院生となり、昭和63年15歳で入段を果たし、プロ棋士としての道を歩み始めた。

以後、着実にその実力を伸ばし、平成5年には棋聖戦五段戦で優勝を飾り、同年日本を代表する棋士50名が選抜出場するNHK杯テレビ囲碁トーナメント大会に初出場を果たした。

平成8年には関西棋院の新人賞を受賞。平成11年には関西棋院若王戦や第2回山野杯において優勝を飾り、平成12年には九段に昇段した。

一方で、棋譜の研究にも努めており、江戸時代の古い棋譜を研究、解説した「秘譜発掘」と題した著書がある。

平成18年には関西棋院第一位決定戦で準優勝、平成19年3月から7月まで対局12連勝を達成し、同年の関西棋院連勝賞を受賞するなど、全国トップクラスの実力を持ち、その活躍に期待が集まっている。